

メイプル



(7月号 NO②)

令和3年7月15日
ニュージャーシー日本人学校
校長 菱沼省二

【校長より】

『高齢者との触れ合いから学ぶ』

高齢者と触れ合う機会は、核家族化の影響を受け、かなり少なくなっています。ましてや、海外に住む我々にとっては、縁遠いことになっています。日本に残してきた高齢者が気になりつつも、あまり接点を持ってないのが現実かと思えます。しかし、高齢者の方と触れ合うことで、我々は多くの喜びや生きがいを与えてもらうことも事実です。

【事例1】

高齢者施設の1種類である「グループホーム」は、日本で施設数が最多の高齢者のための施設です。今から2年半前、所属校の吹奏楽部の生徒20名と調布市内のグループホームへ、訪問演奏に出向きました。30名足らずの高齢者が住んでいる、小さな温かい雰囲気での施設でした。

施設の職員の言葉遣い、優しい語り口調が印象的でした。何よりも、高齢者の方の表情がみな穏やかで、やさしさに満ちていました。グループホームの場合、親族の方が比較的近くに住んでいるので、家族に会える機会が多いことも、高齢者の表情の穏やかさにつながっているのかもしれませんが。

その学校の吹奏楽部は、すごく一生懸命に取り組んでいるのにコンクールでは最高の賞「金賞」に届かない、少し残念な部活動でした。

彼らの演奏を施設のおじいちゃん、おばあちゃんはとても喜んでいました。普段は無口であまり口を開かないおじいちゃんは、満面の笑みで一緒に歌っていました。優しくなおばあちゃんは、涙を流しながら聴いていました。

帰りの路上、電車内、部員は本当に嬉しそうでした。自分たちの演奏を喜ばれたことに成就感をもったようです。

その日以降、演奏が変わりました。「人に喜んでもらえる演奏」

に目覚めたようです。自己満足ではない、人を幸せにしようとする音楽、それは美しいものでした。

この夏、彼らは10年ぶりの「金賞」を獲得しました。おじいちゃん！おばあちゃん！ありがとう！

【事例2】

運動具店のとてもやさしい女性店員の話です。いつも笑顔の穏やかな彼女が珍しく元気ありません。お母さんが亡くなったそうです。彼女のお母さんは「認知症」だったそうです。彼女はお母さんを6年間も介護してきました。

「校長先生、私はこの6年間とても幸せでした。最後の数年は、私のことを「お母さん」と呼んで甘えてきたけど、私たちのために頑張ってきた母親に甘えられ、一緒に生活できたことは本当に幸せだった。私の生涯のプライドになります」

彼女の目には涙が浮かんでいたけど、瞳の奥には愛情と自信とプライドが漲っていました。

「認知症」を悲しい現実として悲観するのではなく、誇りを持てる真実としてとらえ誇りにしている彼女は素晴らしいと思います。

お母さんであり、娘であった「おばあちゃん」ありがとう！ あなたの娘で幸せでした。



【生徒の考え】

『苦労の後の喜び』

9年 中西莉緒

9年生になって約3ヶ月がたちました。8年生のとき、私は9年生がリーダーとして初等部、中等部を支えている姿を見て、カッコいいと思いました。9年生に対してのあこがれがとても強かったです。しかし、いざ9年生になると、いろいろなことを下級生に指示したり、自分が考えることが8年生よりも多くなったりと、大変なことがたくさんありました。それを越えた先には、喜びや達成感があり、素直に嬉しくなることができました。私が成長できたと思う行事を1つ紹介します。

それは、運動会です。運動会では、全校種目、ダンスなど、様々な場面で9年生が引っ張っていくところがありました。特に、全校ダンスを各教室に分かれて練習をするときには、私が前に出て、動きを教えたり、踊ったりしました。私は、もともと、人の前に出て何かをすることがあまり得意ではないので、最初は、みんなの前でダンスをすることが恥ずかしく「これで大丈夫なのか。」と心配することもありました。しかし、みんなが私の動きを見て、真似をしたり、曲を流したら楽しそうに踊ったりしたおかげで、徐々に自信がつき、「このままの自分で行こう」と思えるようになりました。

そのせいか、ダンスが楽しくなっていき、中等部のダンスリーダーも務めました。ダンスを完成させるまでは、苦労をした部分もあったけれど、本番では気持ちよく踊り切ることができ、達成感を味わうことができました。

何かを達成するためには、苦労することもあるけれど、その先には喜びが待っていることを9年生になって改めて感じることができました。みなさんも1つは大変だなと思っていることがあると思います。しかし、そこをぐっとこらえて、努力し続ければ、きっと喜びを感じることができ、その喜びをもとに、新たなことに挑戦していくと私は思います。私の場合は、今回の経験を受験勉強に生かしていきたいと思いました。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



【世界に学ぶ】

『東京オリンピック・パラリンピックにむけて』

校長 菱沼 省二

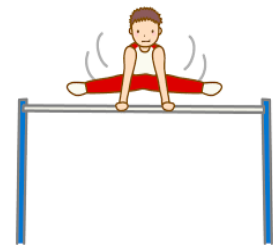
まもなく、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。世界のアスリートたちが、コロナパンデミックの恐怖を乗り越えて、素晴らしいパフォーマンスを見せることでしょう。

先日、体操の世界的な大会を見ていて感動したことをお伝えします。私はスポーツをすること、観ることが好きなので、テレビでもいろいろなスポーツを観戦して楽しみます。男子体操競技の中に、私は驚きのシーンを見かけました。

一人の選手の演技が終わる。選手が、演技用ステージから一段降りる。同国のコーチが声をかける。ほぼ同時に、他国の選手やコーチが握手し、喝采を送る。試合が終了し、選手同士が握手することはさほど珍しくありません。まだ自分にも他の種目が残っているのに、頑張った別の国の選手を褒める。失敗してしまった選手には激励を送る。

選手だけではなくありません。別の国のコーチまでもが、成功した選手を褒めたたえ、失敗に終わった選手の肩を抱いているのです。同じ「体操」に人生をかけて取り組んできた者同士の連帯感なのでしょう。それくらい厳しい練習をしてきたのでしょう。一種目の演技に対する緊張感への共感かもしれません。

本校の児童生徒にも、他人の努力を認められる人になってほしいと思います。お互いの国や人を認め合えるようになれば、平和な世界が実現すると考えます。児童生徒は、東京オリンピック・パラリンピックを通じ、たくさんのことを学ぶことでしょう。



【児童の考え】

『1学期に頑張ったこと』

4年 福井悠樹

僕が1学期に頑張ったことは二つあります。
まず一つめは、お昼の放送です。僕は毎週月曜日に鉄道クイズをやっています。毎週なるべく放送原稿を出すことを心がけています。他にも「Happyじゃんけん」を放送の最後に忘れずにやることも心掛けています。

次に二つ目は、運動会です。リレーのチーム分けは、グラウンドのトラック半周で決まりました。僕はあまり速く走れないので、リレーの時は追い抜かされそうになっても、後ろを見ないで走り切りました。来年は今年よりも速く走れるように頑張りたいです。

「南中ソーラン」は体育の時間にチームで別れて練習しました。

今回の運動会では赤組になりました。みんなの団結力で、優勝しました。応援ダンスは移動することが多いので、覚えるのが大変でした。運動会では失敗をせず、踊ることができました。2学期にはもっと速く走れるようになったり、放送がうまくなったりしたいです。



『1学期の思い出』

4年 小林愛

私の思い出は、運動会です。特に、リレーとダンスを頑張りました！！リレーとしては白組は負けてしまったけど、私自身はしっかり走れてうれしかった。

すごく楽しかったです！！

ダンスは、一番頑張りました。白組の応援ダンスは「つっぱりダンス」です！！家でとてもいっぱい練習したので、ダンスは大成功でした！！NJダンスもちゃんとできました。白組は負けてしまったけれど、とても楽しい運動会になりました！！来年は勝ちたいです。

特に心に残っているダンスは、白組の応援ダンスです！！中等部のみんなが優しく、分かりやすく教えてくれたので、当日も上手に踊れました！！

赤組がダンスの賞を取ってしまったので、すごく悔しかった。
来年こそは賞を取りたいです。

谷元音芭さんが、ダンスの難しい所、私分からないところを上手に教えてくれました。再生画面をゆっくり動かしてくれたから、見やすく踊りやすかったです。本番の時、上手に踊れました。

すごく楽しい運動会になりました。



『楽しかった1学期』

4年 居石悠里

私は、1学期で楽しかったことは、フィラデルフィア校外学習です。

特に楽しかったのは、ザ・フランクリン・インスティテュートの最後のスポーツコーナーです。椅子に座って、自分で綱を引いて、上がる遊びや、砂で絵をかいたりするのが楽しかったです。

お土産を買う時もとても楽しかったです。家族に何を買っていけば喜んでもらえるか、友だちと一緒に考えたり、値段を当て合ったり、友だちと店内を回ってとても楽しかったです。いつもより、皆がたくさん話しかけてくれるので、前よりも仲良くなれた気がしました。

またみんなで、フィラデルフィアへ行きたいです。

みんなでザ・フランクリン・インスティテュートへ行って、遊びたいです。

フィラデルフィアには「自由の鐘（Liberty Bell）」もあるらしいので、「自由の鐘」を見に行きたいです。



※一部文章を省略

【児童生徒の意見】

児童生徒意見交換会（今年度第2回）

実施日時 7月8日（木） 12:50～13:10（昼休み）

会場 5年生教室

参加者 6年生 小林華・居石莞奈・宮崎紗椰
9年生 谷元音芭・眞木希実・牟田島南風・宮崎梨世
教員 佐久間みのり・矢出大介・菱沼省二



《1学期の成果》

谷元… 自分は人前に立つタイプではないと思っていた。しかし、副会長に立候補し児童生徒を牽引する側になれたことに喜びを感じた。運動会では「固定観念」に縛られず、団長を務めきることができた。心の底から「学校に貢献する側」になれて嬉しかった。

宮崎梨… 去年度「副会長」、今年度「会長」を務めその差に驚いた。代表者として話をする機会をたくさん得られた。代表として文章にまとめる体験をすることができた。運動会の達成感は言葉にできないほど大きかった。準備や練習にも、喜びを感じる事ができた。

眞木… 広報委員長として、「生活改善アンケート」をしたおかげで、広報誌によみがなを付けたことが評価された。いろいろな人の意見を聞き入れることで、よりよい学校を作ることができた。

牟田島…「生活改善アンケート」を通じ、アピールすることの大切さを知ることができた。生活委員長を務める中で、生活委員としての「仲間意識・チームワーク」を強めることができた。各生活委員の意見をたくさん聞き入れることができた。

宮崎紗…一番頑張ったことは、集会委員なので「レク」です。レクをするときには「チーム分け」が重要です。終了後に「楽しかった」と声をかけられたことが嬉しかった。集会の司会をたくさんした。運動会では、初等部最高学年として初等部をまとめることができた。

小林… 放送委員として、機器の使い方を知ることができた。「生活改善アンケート」を通じ、改善案を出してもらってよかった。一人だけ「マイナス評価」を受けたが、改善の必要性を知ることができかえて良かった。リーダーの責任を体験できた。フィラデルフィア校外学習で「歴史学習の重要性」を知ることができた。

居石… 対面授業になったので、「新聞づくり」に取り組むことができた。これからは、「栞作り体験会」など、去年できなかったことに取り組みたい。より多く本を読んでもらえるように声掛けをしたい。運動会では、低学年にたくさん話しかけた。

佐久間…中等部以外にも、初等部の委員長が頑張っていることに感動した。

矢出 …「どうせ無理ではなく、だったらこうしよう！ 楽しみながらチャレンジ」してほしい。



菱沼 …小さな改善、小さな前進をあなたたちの力で、NJ校に残していこう。

【連絡事項】

①夏休み自由研究発表会

○期間 令和3年8月21日（土）…保護者用
8月24日（火）～8月27日（金）…児童生徒用

○対象 全校児童生徒

○作品 夏休み中に取り組んだ
「課題研究」「作品」

○展示場所 各教室、特別教室、廊下等

○保護者の閲覧可能日 8月21日（土）午前中



**※コロナ感染状況の変化(悪化)によって、計画に影響を受ける可能性があります。
あらかじめ、ご了承ください。**

②アレルギー対応について

アレルギー対応申請書（新設）

- ・食物アレルギー対応等を希望する家庭は、「アレルギー対応申請書」を提出してください。
- ・アレルギー対応申請書を提出した場合、保護者と学校の面談を実施します。
- ・面談実施後、「アレルギー対応申請書」に基づき、本校が取れる範囲内でアレルギー対応を実施します。

【確認内容の例】

○アレルギー対象者であることの学級や学校内での周知範囲

○アレルギー反応発生時に対応

- ・投薬の判断
- ・連絡体制の確認
- ・救急搬送の判断

○アレルギーフリー（アレルギー原因物質除去や削減）の要望・範囲

※「アレルギー対応申請書」を必要とされる方は、担任に申し出てください。

③バス乗車について

2学期から、バスの乗車方法を次のように改訂します。

- 運転手の直後列への児童生徒乗車に、「バス会社から許可」を得られました。
⇒運転手直後列へも児童生徒を乗車させます。
- ワクチン接種終了生徒は、「隣り合わせて乗車」させます。